

# 平成29年度 異学年交流

## 1 現在地と目的地

小学校高学年の教育活動支援・充実

- ・ 中学校教員との出会い
- ・ 異学年交流の充実



多様な価値観との出会い  
社会性育成、自尊感情涵養  
自治力育成、耐性強化 など

毎年の新入生のように

- ・ 表面的には落ち着いているが、社会性やな  
かまづくりで課題がある集団の存在。
- ・ 小学校高学年で様々なトラブルを経験。

すべての子どもが社会に出て自立して  
生きていく力をつけることができる教育の確立

目的地



現在地



## 2 異学年交流

- (1) 乗り入れ指導の拡大（中学校教員による指導）
- (2) 縦割り班活動（小1～中3）
- (3) 中学生による学習支援
- (4) 小中合同体力づくり・小6部活動仮入部

- より多くの人  
との出会い
- 社会の接点で  
の学びの充実

- 学級担任制から一部教科担任制導入
- 中学生・地域の方々との交流を通して集団生活のルールや礼儀・態度を学ぶ。
- 基礎学力、基礎体力の定着

### 乗り入れ指導の拡大

中学校教員が兼務

【小6】社会・音楽・体育・外国語・算数(3学期より)

【小5】音楽



中学校教員の専門性を生かす  
多様な価値観との出会い（中学校教員との出会い）



【小6社会:中学教員兼務】



【小6音楽:中学教員兼務】

## 縦割り班活動

小学校1年生から中学校3年生までを11の縦割り班に編成し、異学年交流を進める。交流給食、交流タイム、保小中なかよし駅伝などを通して、集団生活のスキルアップ、リーダー育成に取り組む。



結成式(全部で11班)



班長企画による交流活動



各班の独自性を大切に



活動後の振り返り

### 中学生という

#### 身近な手本との出会い

- ・意欲・前向きな姿勢
- ・話し合い活動のスキル
- ・リーダーシップ
- ・礼儀や態度、受け答え



#### 生き方・考え方の刺激

- ・身近な先輩へのあこがれ
- ・活動を創る楽しさ
- ・リーダーとしての意識



小中学生班長による話し合い

## 中学生による学習支援

### 部活動生の学習支援

- ・長期休暇の宿題支援
- ・質問教室
- ・体験活動補助



### 期待される効果

- ・主に高学年の基礎学力の定着
- ・身近な先輩へのあこがれ
- ・中学生の自己有用感の高まり



## 小中合同体力づくり

### 小学6年生部活動参加

放課後の部活動合同アップに小学校高学年が参加。

小学6年生、3学期より部活動仮入部



### 期待される効果

- ・身近な先輩に学ぶ。
- ・中学校の指導性や雰囲気を感じ取る。
- ・基礎体力向上
- ・耐性強化



## 実践を通しての気づき

### □ 9年間の学びの再構築の必要性

小学校4年生と5・6年生の間にある見えない段差を実感し、9年間の学びを再構築する必要性を感じた。

### □ 小学校高学年の教科担任制の必要性

小中9年間の発達段階(成長過程)の特徴について共有し、小学校高学年の教科担任制の必要性を感じた。

### □ 特別活動の必要性

話し合い活動、児童会・生徒会活動、なかまづくりなどを系統的・計画的に実践することは、9年間の児童・生徒の成長を支える重要な柱であると感じた。